

# 園芸作物の生産振興（ブロッコリーの作付け拡大）

## ねらい

美馬管内のブロッコリーは、中山間地域の標高差を利用して、10月下旬から6月上旬まで出荷されている。特に、4～6月（初夏取り）の生産が求められているが、定植が寒い時期に重なるためにトンネルや不織布栽培を行うなど余分な労力が必要である。また、この時期は異常気象等天候が不順であるなど品質が安定せず収量が少ないことが多い。

そこで、初夏取り作型における収量・品質に優れる適品種を検討するとともに、有利販売できる初夏取り栽培の推進を図る。

## 活動地域・対象

活動地域：美馬市、つるぎ町

対 象：管内ブロッコリー生産者

## 普及活動の目標

ブロッコリーの生産拡大（初夏取りブロッコリーの栽培推進）

## 目標に向けた活動概要

- 1）初夏取り有望品種の検討と不織布被覆栽培の効果実証  
令和2年度は、「SK9-099」および不織布被覆栽培の展示ほ設置（3戸）。  
令和3年度は、「SK9-099」、「AB-180」、「サミット」の3品種および不織布被覆栽培の展示ほ設置（2戸）。  
令和4年度は、「BL-458」、「夢あたる」、「サミット」の3品種および不織布被覆栽培の展示ほ設置（3戸）。
- 2）初夏取り新品种の導入および被覆栽培等の推進  
巡回指導、講習会等での適品種およびトンネル、被覆栽培の情報提供による栽培推進。
- 3）黒すす病適期防除の推進  
巡回指導、講習会等での黒すす病の注意喚起および試験研究機関からの適期防除方法の情報提供。

品種展示



栽培講習会



黒すす病



## 普及活動の成果

### ①初夏取りブロッコリーの品種選定

展示ほの設置や講習会等の説明により、生産者に情報が伝わった結果、JA美馬の選定品種の中に「SK9-099」が新規に追加された。新品種の導入により収穫時期の違いから労力が分散され個別の作付け面積の拡大や所得の増加等につながっている。現在も適品種の検討は継続中で「BL-458」「夢あたる」等有望な品種がでてきている。

### ②初夏取りブロッコリーの不織布被覆栽培の推進

展示ほの設置や講習会等の結果説明により、生産者にその効果が認識されたため初夏取りを栽培するほとんどの生産者が導入しており、収量や品質の向上等につながっている。

### ③初夏取りブロッコリーの栽培推進

収益向上や作付け拡大を目的に令和元年産より初夏取りの栽培推進を行っている。初夏取り栽培の作付け面積が1.7ha程度であったものが、令和3年度には約4haとほぼ2倍の面積拡大となった。ただ、数年前よりこの作型で品質が低下する黒すす病の発生が多く見られており問題となっている。

栽培講習会



品種検討



不織布被覆栽培



用語  
説明

初夏取り：4～6月に収穫されるもの。

黒すす病：近年の気象変動により徳島県で数年前から発生が見られ問題となっている糸状菌の病害。5～6月及び10～11月取り作型で多く発生。葉・花蕾に黒色の斑点を生じ出荷できなくなる。

## 今後の発展方向

ブロッコリーの生産拡大のために、栽培技術の支援を行うとともに関係機関と連携して重要病害の防除体系や有望品種の検討等を行い、安定生産栽培を確立していくことで生産者の確保と生産量の増加を目指していきます。

## 関係者からの声

（JA）ブロッコリーの栽培推進、栽培技術支援、有望品種の検討等引き続き連携してお願いしたい。

（生産者）べたがけ栽培は、初期生育や品質が向上し効果が確認できたので導入していきたい。

（生産者）この作型は比較的黒すす病の発生が多いためその対策について検討をお願いしたい。

## 美馬農業支援センター

連絡先：徳島県美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73

tel：0883-53-2309